

登録コード	A1Y06100		開講年度	2026				
授業科目	生物学B					担当教員	今津 道夫	
英文授業名	Biology B							
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・1時限		対象学生	農学部1年生
講義室	共通教育1 3 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 非該当								
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
		2 0 2 6 Aカリ，2 0 2 5 Aカリ						
		【2025年度以降カリキュラム対象】1.【教養・基礎学力】 豊かな教養と農学分野における基礎学力が身につけている。				生物学の基礎知識を身につけるとともに、生物と環境に関わる問題について考えられるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」		環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム		環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要		生物の個体以上のレベルを対象として、生物学のうち進化学、分類・系統学、生態学の各分野にわたって、生物多様性とそれを生じるに至った生物進化の流れ、生物の分類と系統関係、個体群の性質、生物と環境との関わり、生態系の構造と機能を主要なテーマとして、スライドを用いて講義を行う。						
(5)授業計画		第1回：生物の多様性 第2回：地球の歴史と生物の変遷 第3回：進化思想の流れ -進化論から進化学へ- 第4回：生物進化のしくみ（1）：分子進化 第5回：生物進化のしくみ（2）：種分化と系統進化・レポート 第6回：原核生物の分類と系統 第7回：真核生物の分類と系統（1）：原生生物界，菌類界 第8回：真核生物の分類と系統（2）：植物界，動物界 第9回：地球環境と生物・レポート 第10回：個体群の性質 第11回：植物の生態 第12回：動物の行動と社会 第13回：生態的地位と生物群集 第14回：生態系の構造と機能・レポート 第15回：地球生態系と人間・授業アンケート 期末試験						
(6)自主学習の指針		講義で学んだ内容についてまとめたレポート（40点）と講義で取り上げた内容についての期末試験（60点）をあわせて100点で総合的に評価する。						
(7)成績評価の基準		レポートの評価の基準： 講義の内容を理解した上で、課題についてまとめた内容が質・量において充分であるかを評価する。 試験の評価の基準： 進化学、分類・系統学、生態学の基礎知識や概念について、講義内容の理解度をみるととも正確に説明できるかを評価する。						
(8)事前事後学習の内容		定期的に授業で学んだ内容についてのレポートを課すので、講義資料や参考書を活用して復習すること。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)テストやレポートの予定		教科書は指定しないが講義内容に関連する参考書を紹介するので、授業時間外の学習に積極的に活用すること。						
(10)成績評価の方法		火曜日の12時から1時までをオフィスアワーとする。 研究室：共通教育第1講義棟北校舎1階今津研究室 e-mail：imazum@shinshu-u.ac.jp						
(11)質問、相談への対応および連絡先		授業はすべての回に出席することを基本としますが、授業の達成目標に到達するためには12回以上の出席が必要です。						
(12)履修上の注意		「学習の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、申出によりレポート課題によって学習の補充を行う。						
【教科書】		とくに指定しない。						
【参考書】		森誠・江原宏編，ライフサイエンスのための生物学，培風館，2015年，ISBN978-4-563-07815-7，3200円(税別) 日本生態学会編，生態学入門(第2版)，東京化学同人，2012年，ISBN978-4-8079-0783-0，2100円(税別) 長野敬・牛木辰男ら著，サイエンスビュー生物総合資料 増補新訂版，実教出版，2015年 ISBN978-4-407-33593-4，830円(税別)						